

生物多様性の保全

中期環境ビジョン「Green Policy 2020」の目標の一つに「生物多様性の保全」を掲げ、事業活動と社会貢献活動の両面から生物多様性保全に取り組んでいます。

生物多様性の保全への取り組み

資源・エネルギーの大量消費や温室効果ガスの排出などによって気候変動や自然破壊が進行し、地球の生態系に大きな影響を及ぼしており、生物多様性保全への取り組みが急務となっています。

富士通グループは、生物多様性という複雑な問題に対してグローバルに取り組んでいくために、2009年10月に富士通グループ生物多様性行動指針を策定しました。

また指針に基づいた社内向け生物多様性ガイドラインを作成し、2010年度からスタートした第6期富士通グループ環境行動計画においてガイドラインに基づいた具体的な取り組みを推進していきます。

事業活動に伴う生物多様性への影響低減

富士通グループは、自社の事業活動が生物多様性に何らかの影響を与えている、という認識のもと、事業活動における環境負荷低減に取り組んでいます。

社内向け生物多様性ガイドラインには研究・開発・設計、調達、製造、輸送、販売、使用、回収といった製品のライフサイクルすべてのフェーズにおいて、それぞれ取り組むべき事項が具体的に示されています。このガイドラインをもとに、社員一人ひとりが、自らの業務と生物多様性との関わりを認識し、環境負荷低減に取り組めます。

また、2009年度からお取引先評価制度の評価項目に生物多様性保全への取り組みを追加し、2010年6月には、お取引先の生物多様性保全への取り組みをさらに推進・支援するため、「お取引先向け生物多様性ガイドライン」を作成し、お取引先に公開しました。これらの取り組みを通じてサプライチェーン全体での生物多様性への影響低減を進めています。

社会貢献活動による生物多様性の再生・維持の推進

富士通グループは、生物多様性保全の観点から、山梨県が推進する「やまなし企業の農園づくり」制度に参画し、社員がボランティアでブドウ農園の農作業を収穫期まで手伝うという活動を実施しています。この活動の目的は、参加者が農業体験を楽しみながら、農地の適切な管理が生物多様性保全に貢献することを理解し、深めていくことにあります。

甲州市のブドウ農家（有）夢郷葡萄研究所の農園の一部を「富士通GP2020※ワインファーム」と名づけ、2010年3月に第1回の活動を実施。38名の社員が参加し、ブドウ畑の清掃と枝をワイヤーにくくりつける誘引作業を実施しました。



ワインファームでの作業の様子

※ GP2020:富士通グループの中期環境ビジョン「Green Policy 2020」の略。

ICTの活用による生物多様性保全への貢献

生物多様性保全へのICTの活用の一環として、2010年4月から携帯電話のカメラ機能を利用した、社員参加による全国タンポポ分布調査を開始しました。全国から寄せられたGPS機能付き携帯電話で撮影されたタンポポの画像をデータベースに蓄積し、地図情報にマッピングすることにより外来種のタンポポと在来種のタンポポの全国の分布状況を把握することが可能となります。生物多様性保全へのICTの活用可能性を検証するとともに社員が生物多様性保全の重要性を認識し活動を推進するきっかけとするものです。



生物情報収集システムの画面

富士通グループ生物多様性行動指針

2009年10月制定

富士通グループは、「事業活動が生物多様性からの恵みを受け、また影響を与えている」との認識のもと、持続可能で豊かな社会を目指し、グローバルICT企業としてその持てるテクノロジーと創造力を活かして、社会と連携をとりながら人と自然のあるべき姿を追求し行動します。

取り組みの考え方

- 1. 自らの事業活動における生物多様性の保全と持続可能な利用の実践**
事業活動のすべてのステージにおいて生物多様性へ与える影響を分析・評価し、製品・サービスのライフサイクル全体における生物多様性への影響を低減することにより、生物多様性の保全と持続可能な利用に努めます。
- 2. 生物多様性の保全と持続可能な利用を実現する社会づくりへの貢献**
富士通グループのもつテクノロジー、自らの事業活動での実践による生物多様性への取り組みノウハウ、また社会貢献活動を通して、お客様や社会全体の生物多様性の保全と持続可能な利用に貢献します。

重点施策

- 1. 生物多様性保全へのICT（情報技術）の活用**
リモートセンシング、データベース、分析・評価手法など、生物多様性の保全と持続可能な利用にICTを活用していきます。
- 2. 生物多様性の社会への普及に貢献**
生物多様性の保全およびその持続可能な利用を社会に浸透させるためには、それらを実践する人づくりが大切であるとの認識のもと、社会における普及・啓発と、それを支える情報基盤の構築に貢献します。
- 3. グローバル規模での展開**
富士通グループのグローバルに統合された環境マネジメントシステムを活用し、社員一人ひとりの生物多様性に対する意識向上に努め、グローバルに生物多様性へ取り組みます。